

亀岡市は、千年の都京都から老ノ坂峠をひとつ越えた所に位置し、美しく連なる山々に囲まれ、盆地中央を清く澄んだ保津川が貫く、水と緑あふれるまちです。

季節の移ろいをそのまま豊かな自然に映し、訪れる人々を魅了してくれます。

がまちの歴史を彩っています。

元弘3年(1333年)

鎌倉幕府から伯耆国船上山に籠る後醍醐天皇討伐の命を受けた足利高氏は、搦手の大将として老ノ坂を越え、篠村八幡宮に陣を張ります。高氏は、八幡宮に源氏再

亀岡市は、足利尊氏を始め、知将とうたわれ、た明智光秀、日本画の巨匠円山応挙、さらには心学の祖石田梅岩など、歴史的にも有名な人物



旗立て楊

興の願文を捧げ、鎬矢一筋を納め、境内には源氏の白旗を掲げたところ、丹波の土豪の多くが馳せ参じ2万騎を超える兵となりました。その兵を擁して北条氏に反旗を翻し、六波羅探題を攻め落とし、建武の中興の先駆的な役割を果たしました。その功績によって天皇から「尊」の字を賜わり、尊氏としました。そこで、高氏始め各将が奉納した矢を納めた「矢塚」



篠村八幡宮

や白旗を掲げた「旗立て楊」が残る境内は、「足利高氏の史跡に指定され、願文も京都府の指定文化財となっています。

